静岡大学防災総合センター

Center for Integrated Research and Education of Natural Hazards

静岡大学防災総合センター　教員リスト

【センター長・副センター長（部門長）・専任教員・特任教員】

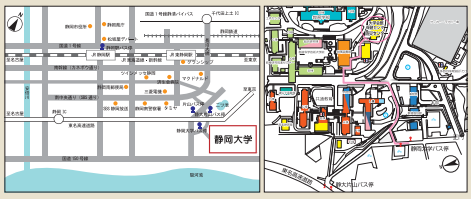
	氏名	所属	職名	専門分野
センター長	岩田孝仁	融合・グローバル領域地域創造学環	教授	地方行政学(防災)、防災政策、防災学
副センター長（教育部門長）	村越真	教育学領域	教授	統計法、リスク認知、防災教育
副センター長（研究部門長）	牛山素行	融合・グローバル領域防災総合センター	教授	自然災害科学、災害情報学、豪雨災害
副センター長（地域連携部門長）	小山眞人	教育学領域地域創造学環	教授	火山学、地質学、地震・火山防災他
副センター長（浜松キャンパス担当）	前田恭伸	工学領域	教授	リスクアナリシス
専任教員	原田賢治	融合・グローバル領域防災総合センター	准教授	津波工学、津波防災、海岸工学、水工学
特任教員	増田俊明	防災総合センター	特任教授	構造岩石学、地球進化学
特任教員	小杉素子	総合科学技術研究科工学専攻	特任准教授	社会心理学

【兼務教員】

氏名	所属	職名	専門分野	氏名	所属	職名	専門分野
川瀬憲子	人文社会科学領域	教授	地域研究	生田領野	理学領域	准教授	測地学、地震学
寺村泰	〃	教授	経済政策	石橋秀巳	〃	准教授	火山岩石学、実験マグマ学
水谷洋一	〃	教授	財政・公共政策	三井雄太	〃	講師	地震学、測地学
池田恵子	教育学領域	教授	社会地理学	池田昌之	〃	助教	層序学、堆積学
小林朋子	〃	教授	学校心理学、被災者の心のケア	橋本岳	工学領域	准教授	画像計測工学、災害予兆検知
藤井基貴	〃	准教授	教育哲学、道徳教育	二川雅登	〃	准教授	電子デバイス・電子機器
佐治寿	情報学領域	教授	画像処理、交通情報解析	今泉文寿	農学領域	准教授	砂防工学
秋元琢摘	〃	講師	地理学	小林研治	〃	准教授	木質科学、建築構造・材料
北村晃寿	理学領域	教授	津波堆積学、古地震の研究	石川宏之	融合・グローバル領域地域創造学環	准教授	都市計画・建築計画
木村浩之	〃	教授	地球微生物学				
森下祐一	〃	教授	岩石・鉱物・鉱床学	古橋裕子	融合・グローバル領域保健センター	教授	精神科医
				山本裕之	〃	教授	内分泌学、公衆衛生学、健康科学、代謝学

【客員教員】

氏名	職名	専門分野	氏名	職名	専門分野
安藤雅孝	客員教授	地震学、固体地球物理学	土屋智	客員教授	山地水文学、土砂移動学
石井輝秋	客員教授	海洋底地質、火山学	中川和之	客員教授	災害報道、市民防災、災害救援
石川有三	客員教授	固体地球内部物理学、地震学	野津憲治	客員教授	地震化学、火山化学、地球化学
石田瑞穂	客員教授	地震学	林拙郎	客員教授	土砂災害、発生予測、豪雨災害、自然災害
伊藤潔	客員教授	地震学、固体地球物理学	林能成	客員教授	地震学、地震防災
伊藤谷生	客員教授	構造地質学、変動地形学、地震探査学	藤井直之	客員教授	固体地球惑星物理学、火山物理学
岩崎一孝	客員教授	気候学、自然地理学、地理情報システム	増澤武弘	客員教授	植物生態学、植生学、環境科学
岩松暁	客員教授	応用地質学、自然災害科学、情報地質学	安田清	客員教授	整形外科、災害医療
鵜川元雄	客員教授	火山学、地球物理学、地震学	山崎登	客員教授	災害情報
大谷栄治	客員教授	高圧地球科学、鉱物物理学	山田和芳	客員教授	湖沼堆積学
笠原順三	客員教授	地震学、地震探査、地球物理学他	矢守克也	客員教授	防災心理学、社会心理学、災害社会学、防災教育学
風間聡	客員教授	水文学、河川工学、水資源学			
片田敏孝	客員教授	災害社会工学	吉田明夫	客員教授	地震学
狩野謙一	客員教授	地質学、地質図学、地質調査法	吉野篤人	客員教授	救急医学、災害医療
唐戸俊一郎	客員教授	地球科学、地球内部構造	渡辺俊樹	客員教授	構造地質学、変動地形学、地震探査
吉川肇子	客員教授	組織心理学、社会心理学	井ノ口宗成	客員准教授	社会・安全システム科学、社会システム工学・安全システム
木村圭司	客員教授	気候学、地理学			
近藤昭彦	客員教授	地理学、水文学、環境学	関谷直也	客員准教授	社会心理学
佐藤健	客員教授	建築構造工学、地震工学、自然災害科学、安全教育学	楠城一嘉	客員准教授	地球科学、地震学、リスク共生学
			秦康範	客員准教授	災害軽減工学
菅原大助	客員教授	地質学、堆積学	廣井悠	客員准教授	都市防災、都市工学
鈴木清史	客員教授	文化人類学	紅谷昇平	客員准教授	自治体・企業の危機管理
武村雅之	客員教授	地震学	本間基寛	客員准教授	災害情報学
千木良雅弘	客員教授	地すべり	松井務	客員准教授	地域医療学



静岡大学防災総合センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 大学会館1階
電話：054-238-4502　FAX：054-238-4911
URL：http://www.cnh.shizuoka.ac.jp/

2019年6月作成

目的

私たちは大学の使命である、教育と研究を通して地域社会への貢献を目指します。本センターは、静岡大学における防災教育及び防災科学研究を総合的に展開するとともに、地域と連携して地域の防災体制の向上に資することを目的とするため2008年度に設置されました。

防災静岡モデル

防災人材ピラミッド

- カテゴリー1：防災実務者を指導できる専門的実務者・研究者
- カテゴリー2：広域・複数災害に対応できる防災実務者
- カテゴリー3（ふじのくに防災フェロー）：特定地域・特定災害に対応できる防災実務者（大学卒業レベル）
- カテゴリー4（静岡大学防災マイスター）（静岡県ふじのくに防災士）：一通りの体系的防災知識を有する人材（教養課程レベル）
- カテゴリー5：防災に理解のある者（一般市民レベル）

静岡大学

【研究の役割】
地域密着型の防災研究の高度化
静岡県等の津波堆積物・津波災害の研究
富士山・伊豆半島の火山学・火山防災学的研究
南海トラフ地震に関する基礎研究
自然災害による人的被害に関する基礎研究
災害情報の利活用・避難行動に関する研究
防災教育・こころのケアの研究　等

【人材育成の役割】
特定の地域、災害に対応できる防災専門家の育成「大学卒業レベル」（ふじのくに防災フェロー）
体系的防災知識を有する人材の育成「教養課程レベル」（静岡大学防災マイスター）

【地域連携の役割】
各種公的委員会への参画による専門的知見の提供
新聞・テレビ等メディアへの積極的な協力による防災知見の普及
一般向け防災講演への協力、シンポジウム開催・共催による研究成果の普及

静岡県危機管理部

【研究の役割】
地域のニーズに応じた共同研究

【人材育成の役割】
体系的防災知識を有する人材育成「教養課程レベル」（静岡県ふじのくに防災士）
防災に理解のある人材の育成「一般市民レベル」

【その他の役割】
静岡県民への防災知識普及活動
施設面（ハード）の充実

連携・共同

県内外の各種機関

浜松医科大学	静岡県立大学
静岡文化芸術大学	東海大学
常葉大学	静岡県教育委員会
静岡地方気象台	県内報道機関
岐阜大学	名古屋大学
名古屋工業大学	豊橋技術科学大学
三重大学	

伊豆半島ジオパーク推進協議会

【研究の役割】
ジオパークサイトの学術的研究
地震・火山活動の即時被害把握の研究

【人材育成の役割】
専門知識をもつジオパークガイドの育成（教養課程レベル）

【その他の役割】
住民・観光客への防災知識普及活動

効果

防災先進地である静岡県において、官学民が、連携・共同し作り上げる、災害に強い社会構造「防災静岡モデル」の構築・発信

最新の防災知見を地域社会が共有するだけでなく、

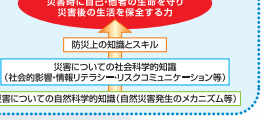
全国へ発信

「防災静岡モデル」が日本の地域防災の方向性を提示・牽引

特色ある取組

静岡大学防災マイスター称号制度

本学の学生を対象に、一定の授業科目を修得することで、「静岡大学防災マイスター」の称号を授与しています。さらに本学の防災マイスター取得者は一定条件を満たすことにより、静岡県知事認証「静岡県ふじのくに防災マイスター」の称号を取得できます。
http://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/#section_07

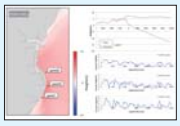


ふじのくに防災フェロー養成講座

静岡県と連携し、「ふじのくに防災フェロー養成講座」を開講しています。自治体や企業等で災害に関する実務に従事している方を対象に、災害発生後の「危機管理ノウハウ」にとどまらず、災害の事前予防を目指し、地域の災害特性を理解し、災害に関わる科学的情報を読み解ける、実践的応用力を身につけた人材を育成しています。
http://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/fellow/

防災研究の推進

地震災害、津波災害、風水害に関わる基礎研究、富士山・伊豆の火山学・火山防災学的研究、災害情報に関わる研究など、様々な角度からの災害・防災に関する研究を推進しています。



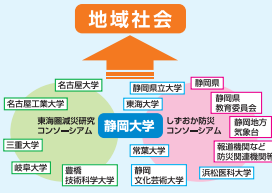
研究成果の活用

「支援者のための災害後のこころのケアハンドブック」や「伊豆半島のジオマップ1～5」などを作成しています。

地域連携

静岡県では、静岡県を中核に県内国公私立大学（静岡大、浜松医大、静岡県立大、静岡文芸大、東海大、常葉大）、県教育委員会、静岡地方気象台及び報道機関各社からなる「しずおか防災コンソーシアム」が設立され、防災に関する啓蒙活動として、ふじのくに防災学講座などを開催しています。

また、東海圏に位置する、岐阜大、静岡大、名古屋大、名古屋工大、豊橋技科大、三重大の防災・減災関連センターが協力・協働する場として、「東海圏減災研究コンソーシアム」が設立されており、本センターは、各大学と連携して研究・教育を推進しています。このほか、各教員が防災に関する公的委員や講演、新聞テレビ出演など多数行い、地域社会の防災力向上に積極的に寄与しています。



センターには3部門があり、下記に掲げる業務を行います。

教育部門

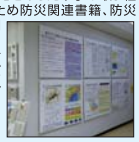
・学内の防災教育の充実及び推進
・防災教育方法及び防災教育教材の開発並びにその検証
・県民、学童等を対象とした防災教育の充実

研究部門

・学内の防災科学研究の充実及び推進
・防災科学研究に係る学内関係部局の連携
・防災に関連する知識及び研究情報の収集並びに発信

地域連携部門

・防災教育及び防災科学研究における国、地方公共団体、防災関係機関等との連携
・防災教育及び防災科学研究における他大学との連携
・災害時における本学及び地域の危機管理能力の向上に貢献

静岡大学大学会館エントランス展示

静岡大学防災総合センターが設置されている大学会館１階のエントランスでは、防災の学びの場を提供することで本学の学生の防災知識の充実に資するため、また、来訪者へ防災をとおした本学の取り組みのアピールのため防災関連書籍、防災教育教材、防災関連行事の広報物、当センターの活動紹介資料などの展示・掲示をしています。